

平成20年度環境技術実証事業検討会 有機性排水処理技術ワーキンググループ会合(第2回) 議事概要(案)

1. 日時：平成21年3月10日14:00～16:00

2. 場所：航空会館 B101

3. 議題

- (1) 実証試験結果報告書の検討について
- (2) 実証試験要領の見直しについて
- (3) 実証によるメリット等の向上について
- (4) その他

4. 出席委員：藤田座長、徐委員、名取委員

実証機関：社団法人 埼玉県環境検査研究協会
大阪府 環境農林水産総合研究所

5. 配布資料

資料1 平成20年度環境技術実証事業検討会有機性排水処理技術ワーキンググループ会合(第1回)議事概要(案)

資料2 平成20年度環境技術実証事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野 実証試験結果報告書((社)埼玉県環境検査研究協会/株式会社セイスイ/メカセラ装置)

資料3 拡大ワーキンググループの実施報告

資料4 小規模事業場向け有機性排水処理技術(厨房・食堂、食品工場等関係)実証試験要領の見直しについて(案)

資料5 実証によるメリット等の向上について

資料6 今後のスケジュール(案)

参考資料1 小規模事業場向け有機性排水処理技術(厨房・食堂、食品工場等関係)実証試験要領(第1版)

- 2 環境技術実証事業平成19年度実証試験結果報告書の概要
小規模事業場向け有機性排水処理技術分野

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 実証試験結果報告書の検討について

- ・実証機関（（社）埼玉県環境検査研究協会）から資料2について説明。

【徐検委員】処理目標は、汚泥の減容化 70%以上となっているが、60、65%程度であり、それでよいか。

【埼玉県環境検査研究協会】汚泥の減容化とSSの減容化をみており、時期により異なっているが、50%も効果的と考えている。

【徐委員】処理目標は、60%以上にはできないだろうか。

【藤田座長】処理率は開発者との話し合いで決まるものであり、後追いの設定はよくない。

【徐委員】19 ページでは、BODやT-Nの観察、実証試験場所の機能変化とあるが、表現として適切ですか。

【埼玉県環境検査研究協会】BODやT-Nについては、実証項目でないため、そのような表現としている。機能変化については、本来の施設への後付装置であり、後付により本来機能がわるくならないか、そのような観点で試験の考え方を記載している。

【名取委員】この装置は後付装置であるが、本来の施設の費用から考えて高価と思われる。自動車整備工場や中小の食品工場での導入は難しいでしょう。

【埼玉県環境検査研究協会】もともとは臭気対策として、農業集落排水等に使用され、汚泥の減容にもなっている。

【名取委員】汚泥の含水率は。

【埼玉県環境検査研究協会】97%程度であるが、通常のようにバシャバシャでなく、さらさら感がある。

【藤田座長】メカセラ水は、原水、ばっ気、汚泥濃縮槽等に入れているが、なぜか。

【埼玉県環境検査研究協会】当初は、汚泥濃縮槽であったが、流入水等へも入れて効果的となっている。

なお、3 ページは原理図、9 ページは実際の試験での図である。

【徐委員】9 ページでは各所にメカセラ水を6%、3%、4%と入れているが、これが最適か。また、立ち上げ1か月となっているが。

【埼玉県環境検査研究協会】各所に入れた方が効果的である。

装置の設置は2日程度。槽全体になじませるためには、1月程度必要となっている。

【名取委員】kWのような単位については、人と名を表すものは大文字、キロ(k)のようなものは小文字であり、全体的に確認する。

【藤田座長】それでは、大きな修正点はないものとし、文言の適切な修正を行うこととして、ここでの報告書の確認は終わる。

(2) 実証試験要領について

- ・事務局から、資料3、資料4に基づき実証試験要領の見直しについて説明。

【名取委員】この分野での適用できる排水は、PRし、また充実させることが重要である。

【大阪府環境農林水産総合研究所】資料4の見直しとして、現在の試験要領は「小規模事業場向け有機性排水処理技術（厨房・食堂、食品工場等関係）」となっており、（ ）内に「等」があり、厨房・食堂、食品工場以外の染色工場等も含まれることとなっている。しかし、（ ）内の厨房・食堂、食品工場が目立ち、他も含まれるのがわかりづらい。幅広くするには、（ ）内を削除することが考えられる。

【藤田座長】資料4、タイトルの（ ）の件、ここでは結論を出さないが、次年度に検討し、試験要領の改訂となる。

(3) 実証によるメリット等の向上について

- ・事務局から、資料5に基づき実証によるメリット等の向上について説明。

【環境省】認証については、要望はあるが、この分野だけでは決められない問題である。現在ETVのロゴに結果（例えば処理率）を付けることも考えている。ただし、この分野では、一定の処理でないため（処理目標・処理条件等があり）、表示が難しいと考えられる。

【藤田座長】本日は結論をださないが、次年度以降に検討していくこととした。

(4) その他

- ・事務局から資料6に基づき、「今後のスケジュール」を説明。

【藤田座長】要望にあったように、次年度は早くから始められる予定である。

(3) その他

- ・本日の議事については、議事要旨を事務局の責任で作成し、後日ホームページで公開する。（委員了承）

以上